

上水 高等学校 令和6年度（1年次用）教科

家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭

科目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1年次 A組～ F組

使用教科書：（ 家庭基礎 気づく力 築く未来 実教出版 ）

教科 家庭

の目標：

【知識及び技能】

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境について、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

家庭や地域及び社会における生活の中なら問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家族、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。	家庭や地域および社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 生涯の生活設計</p> <p>【知識及び技能】 人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解しているとともに、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定していくことの重要性について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察し、生活設計を工夫する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 将来の生活設計について主体的に取り組む。</p>	<p>1、生涯発達と発達課題</p> <p>2、生活設計と職業生活</p>	<p>【知識・技能】 人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解しているとともに、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定していくことの重要性について理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参加しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>B 青少年の自立と家族・家庭</p> <p>【知識及び技能】 生涯発達の視点で青年期の課題を理解しているとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族、家庭と社会との関わりについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任を持って行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家族を築くことの重要性について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について興味・関心をもって取り組む。</p>	<p>1、自立と共生</p> <p>2、ライフキャリア</p> <p>3、共に生きる家族</p> <p>4、家族に関する法律</p>	<p>【知識・技能】 生涯発達の視点で青年期の課題を理解しているとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族、家庭と社会との関わりについて理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任を持って行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家族を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>C 衣生活と健康</p> <p>【知識及び技能】 ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着想を工夫する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 衣生活の現状に関心を持ち、基礎縫い等の実習に積極的に取り組み衣生活の改善・向上に努める。</p>	<p>1、人と衣服のかかわり</p> <p>2、衣服の素材の種類と特徴</p> <p>3、衣服の選択から管理まで</p> <p>4、持続可能な衣生活をつくる</p> <p>5、衣服の構造・デザイン</p>	<p>【知識・技能】 ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。被服材料、被服構成及び被服衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 被服の機能性や快適性に問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の社会の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	12

一学期

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
二 学 期	D 子どもの生活と保育 【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもを生み育てることの意義について考えとともに、子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもに関わる実践活動に積極的に参加し、子どもの発達の様子や生活に興味・関心を持つ。子どもを取り巻く状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考える。	1、子どもとは 2、子どもの発達 3、子どもの生活 4、子どもを育む 5、子どものための社会福祉	【知識・技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだしたりして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子どもの生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						1
	E 高齢期の生活と福祉 【知識及び技能】 高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解するとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者と関わろうとする。	1、高齢社会に生きる 2、高齢者を知る 3、高齢者の自立を支える 4、高齢社会を支えるしくみ	【知識・技能】 高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解しているとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	6
F 共生社会と福祉 【知識及び技能】 生涯を通じて家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の一員としての自覚を持ち、地域の支え合う活動へ興味・関心を持つ。	1、支えあって生きる 2、共生社会を生きる	【知識・技能】 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 【思考・判断・表現】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解説策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4	
G 食生活と健康 【知識及び技能】 ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について考察し、自己や家族の食事を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の食生活について関心を持ち、調理実習に積極的に参加し、自分や家族の食生活の改善・向上につとめる。	1、日本の食文化の形成 2、私たちの食生活 3、栄養と食品のかかわり 4、食品の選び方と安全 5、食事の計画と調理 6、これからの食生活を考える	【知識・技能】 ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解しているとともに、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解しているとともに、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	19	
定期考査				○	○		1

